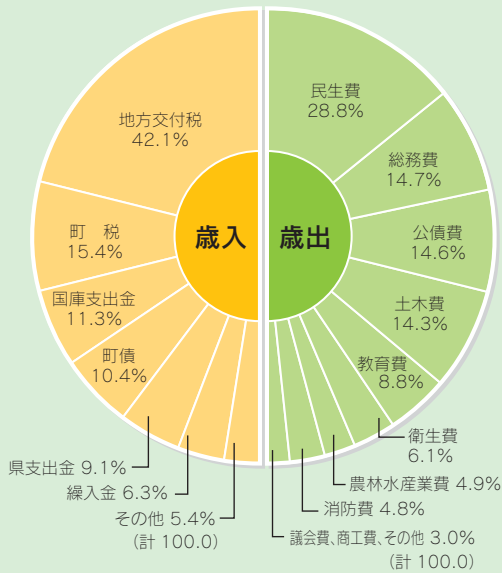


平成22年度予算額

◆一般会計 71億8,768万円



◆特別会計など

国民健康保険	26億759万円
後期高齢者医療	1億3,967万円
介護保険(事業勘定)	15億2,748万円
介護保険(サービス事業勘定)	284万円
簡易水道事業	8,555万円
漁業集落排水処理事業	1億3,383万円
公共下水道事業	5億2,105万円
水道事業	収益的支出 2億8,046万円 資本的支出 1億2,108万円

参考

1世帯当たりの一般会計歳出予算額 (平成22年3月1日現在 7,210世帯)

民生費 (福祉の向上のために使われる経費)	286,774円
総務費 (一般事務費などに使われる経費)	146,115円
公債費 (事業を行うため借りたお金の返済に充てる経費)	145,271円
土木費 (道路の整備や区画整理事業に使われる経費)	142,285円
教育費 (小中学校の管理や社会教育に使われる経費)	87,649円
衛生費 (各種検診やごみ処理に使われる経費)	61,367円
農林水産業費 (農林水産業の振興に使われる経費)	49,398円
その他 (消防費、議会費、商工費など)	78,045円
合計 (1世帯当たり)	996,904円

いきたい。

基幹的排水路 整備するべき

問 生活基盤の整備が漁場を抱えた地域では進んでいるが、地域格差を解消するため山村部の基幹的排水路を整備すべきでは。

地域整備課 基幹的排水路を整備するとすれば、発展計画に計上しなければ実施は難しい。

コンビニ収納 見込みを示せ

問 コンビニ収納を検討するとのことであるが、大漁

スタンプやまごころ商品券、クレジットカードなどの活用について、住民からの要望はないのか。過去にインターネットのオークションを利用して収納率をアップすると言っていたがどのようになっているか。

税務会計課 納税する機会を数多くつくるためにコンビニ収納の導入を考えている。クレジットカードなどの活用方法もあるが、コンビニ収納の希望が多いと捉えている。インターネットのオークションについては勉強中であり、現在は差し押さえをして納税を促している状況である。これが進まない場合には、公売に移

るといふ考えは持っている。390万円をかけてコンビニ収納システムを導入するが、コストに見合うだけの効果があるのか。

税務会計課 昼間に銀行に行けない人が増えており、かけなければならぬ行政コストだと考えている。対象となる税は、町県民税、固定資産税、軽自動車税、国保税である。口座振替、納税組合を除いた自主納付のうち、1%の利用があれば870万円となる。

旧山田病院旧館 活用する考えは

問 旧県立山田病院の旧館

これ以上の職員削減 難しいのではないか

問 職員の政策形成能力を高めてほしいが、どのような取り組みをするのか。また、これ以上の職員削減は難しいのではないか。

町長 少なくともなければならぬ。職員の資質が問われるので、研修の機会を増やしていきたい。職員採用については、町の将来を担うことから厳正に対処したい。

を解体しないで活用する考えは。

副町長 平成22年度から外部の検討委員会を立ち上げ協議することになる。